



10月1日(土)・2日(日)に開催する第55回記念伊勢原観光道灌まつりの参加者を募集

3年ぶりに開催する道灌まつりに参加しませんか。希望者は8月3日(水)までに市ホームページ「道灌まつり」特設サイトに掲載している申込書に必要事項を記入し、FAX(☎95-7613)か電子メール(✉doukanmatsuri@isehara-city.jp)、または直接市役所2階の担当へお申し込みください。なお、申し込みの際に新型コロナウイルス感染防止についての同意をしていただきます。詳しくは担当にお問い合わせいただくか、右のQRコードから特設サイトをご覧ください。



特設サイト

協賛金を募集

道灌まつりは皆さまからのご支援とご協賛により開催しています。ご協賛いただいた事業所などは、プログラムおよび伊勢原駅北口に設置する協賛者看板にお名前を掲載します。

同日開催 第48回伊勢原商工まつり

詳しくは商工会(☎95-3233)にお問い合わせください。

伊勢原観光道灌まつり実行委員会 ☎94-4729
(〒259-1188※住所欄の記入は不要、商工観光課内)

行事名など/日時・場所(予定)	参加資格・定員など
市民参加ステージ 10月1日(土)・2日(日) おまつり広場特設ステージ、北口広場、伊勢原大神宮、日産広場	市内在住・在勤・在学の人で構成する団体か個人31組程度(申込多数の場合は抽選)、参加料30分5000円(おまつり広場)、3000円(その他会場)※準備・片付け時間含む。控えテントは1張を予定していますが、場所や時間帯によって使用できない場合があります。詳しくは特設サイトをご覧ください
おまつり広場出店者 10月1日(土)12:00~17:00 10月2日(日)10:00~17:00	市内在住・在勤・在学の人で構成する団体、または市内事業者。区画は9区画程度(申込多数の場合は抽選)、出店料2日間で1区画(1.5間×2間テントスペース)3万円(テント設営費、電源使用料込み※使用量に制限あり)※持ち込みテントは使用不可、食品を扱う場合は食品衛生講習会の受講と美化協力金3000円が必要。詳しくは特設サイトをご覧ください
まつり囃子パレード 10月1日(土)12:00~ 歩行者天国内	市内で活動する太鼓保存会や愛好会などの団体
ISEHARAスター誕生(カラオケコンテスト) 10月1日(土)14:30~ 伊勢原大神宮神楽殿	市内在住・在勤・在学の人※カラオケテープ・CD・MD持参、9月9日(金)までに申し込み
ISEHARAおどりおどらナイト(観光総おどり) 10月1日(土)15:50~ 歩行者天国内	市内で活動する民謡愛好会などの団体
昼間からおどろうデイ 10月2日(日)14:00~ 歩行者天国内	市内で活動する民謡愛好会などの団体
太田道灌公鷹狩り行列と北条政子日向薬師参詣行列の重臣役、稚児行列	縮小開催のため、募集しません

☆会場内に模擬店などを出店する場合

所定の用紙を8月12日(金)までに実行委員会(商店会加盟者は商店会長)へ届け出てください※道路使用許可証などが必要な場合あり。食品を扱う場合は食品衛生講習会の受講と美化協力金3000円が必要。臨時営業許可が必要な場合がありますので、詳しくは特設サイトをご覧ください。県外からの出店はできません

新型コロナウイルス関連情報

市内の患者発生状況
患者数(累計) 5851人 ※7月8日現在

ワクチン追加接種(4回目)

新型コロナワクチンの追加接種(4回目)を行っています。対象者は次のとおりです◇1~3回目接種も引き続き行っています

対象 3回目接種から少なくとも5カ月以上が経過した①60歳以上の人 ②18歳~59歳で、基礎疾患を有する人、その他重症化リスクが高いと医師が認める人

①の人には、3回目の接種から5カ月以上経過した人から順次、接種券を送付しています。②の人は、接種券の発行申請が必要です。コールセンター(☎0570-090-655、午前8時45分~午後5時)にお問い合わせいただくか、市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に伴うさまざまなお知らせ」をご覧ください◇右のQRコードからも申請できます



電子申請ページ

健康づくり課 ☎92-1117

新型コロナワクチン4回目接種Q&A

Q.なぜ4回目接種が必要なのか。

A.重症化を予防する効果が期待されるためです。新型コロナウイルス感染症は高齢者や妊娠している人、基礎疾患を有する人などが重症化しやすいことが科学的に明らかになってきています。また、喫煙者や身体不活動(運動不足)の人も重症化しやすいとされています。このようなデータや諸外国の動向などを踏まえて実施することになりました。事前に相談できる医療機関をお持ちの方は、4回目接種について医師にご相談ください。

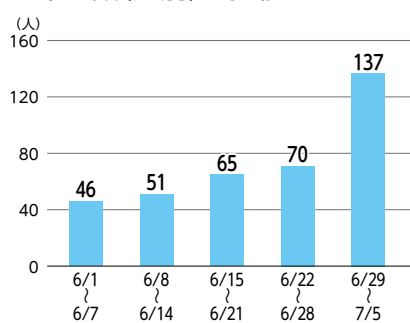
Q.4回目接種には、どのような効果があるのか。

A.ワクチンによる感染予防効果は短期間しか持続しなかったという報告がある一方、重症化予防効果は6週間経過しても維持されていたことや、死亡予防効果を示唆する報告があります。

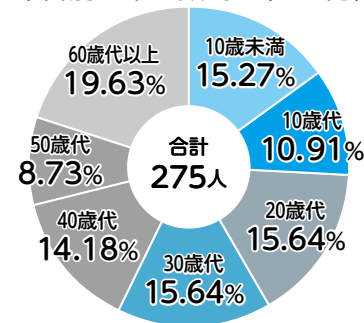
参考：厚生労働省ホームページ「新型コロナワクチンQ&A」(令和4年4月25日時点)

伊勢原市内における感染状況

感染者数(週別)の推移



年代別感染者数割合(R4.6月)



夏休みも基本的な感染対策を

変異株「オミクロン株」のうち、感染力が強いとされる「BA・5」への置き換わりにより、新規感染者が再び増えつつあります。急激な感染拡大を防ぐため、正しいマスクの着用や大人数、長時間の飲み会を避けるなど、引き続き基本的な感染対策をお願いします。

屋外・屋内でのマスク着用について

厚生労働省では、気温・湿度が高くなり熱中症のリスクが高くなる時季を前に、屋内・屋外のマスク着用について次のような考え方を示しました。

◆屋外では、人との距離(2m以上を目安)が確保できる場合や、距離が確保できなくても、会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません

◆屋内では、人との距離(2m以上を目安)が確保できて、かつ会話をほとんど行わない場合は、マスクを着用する必要はありません

ただし、マスクの着用は従来同様、基本的な感染防止対策として重要です。一人一人の行動が、大切な人と私たちの日常を守ることにつながります。引き続き、ご協力をお願いします。

